

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション科に、リンパ浮腫で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここでご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

四肢リンパ浮腫患者におけるリンパ管静脈吻合術前後のリハビリテーション医療の経時的評価

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 講師 西郊靖子

3. 研究の目的

リンパ浮腫は、難治性であり繰り返します。その理由は浮腫の周囲に増殖する脂肪組織によりリンパ管がかたくなるからだと言われています。そのため毎日の圧迫療法、運動、セルフマッサージを行い、蜂窩織炎を起こしやすい場合は、リンパ管静脈吻合術を受けることとなります。そのため、今までの患者さんのデータを評価分析し、リンパ浮腫の増悪を予防し、効果のみられたリハビリテーション内容を明らかにしていきます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2019年4月から2022年3月までにリンパ管静脈吻合術を受けられた患者様のうち、リハビリテーション指導を受けたことのある患者さんです。

(2) 利用させていただく情報

この研究で利用させて頂くデータは、診療録による病気の状態、日常生活の自立度、検査結果、体重や、リンパ浮腫の四肢の周径、リハビリテーション科で測定した体積に関する情報です。

(3) 方法

診療録による体の状態（年齢、性別、病歴、内服、合併症、日常生活の自立度）を、手術前後の体重、四肢周径、体積と比較検討します。また行ったリハビリテーション内容も参考にいたします。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 担当医師 西郊靖子

TEL : 073-441-0664 FAX : 073-446-6475 E-mail nishioky@wakayama-med.ac.jp